

## 平成19年度関東地域アライグマ防除モデル事業調査案

## 【目的】

本事業は、平成17年度より実施し、広域的に分布する特定外来生物を的確に防除するためのモデル事業として、県域をまたがって広域に分布して生態系や農業に被害を及ぼすおそれがあるアライグマを対象に、神奈川県を中心にその隣接県を含めて効果的な防除手法の検討や地域間の連携方策の検討等を行うものであり、これにより防除実施計画の策定を進めるとともに、その成果をマニュアルとしてとりまとめ、各地方公共団体の適切な防除に資することを目的とする。

## 【実施期間】

平成19年4月から平成20年3月までとする。

## 【実施内容】

## 1. モデル事業での防除手法の整理

地域の状況に応じたアライグマの効果的な防除手法を検討するために、これまでのモデル事業での捕獲実績や追加調査を実施し効果的な防除手法について整理しとりまとめる。

## ①高密度に分布し生態系に被害を与えている地域

平成18年度関東地域アライグマ防除モデル事業調査で実施した捕獲調査地で足跡トラップや自動撮影によりアライグマの生息状況をモニタリングしつつ、効率的な箱ワナ設置による捕獲方法の検討及び捕獲を行う。また、捕獲実施後に同様の生息状況モニタリングを実施。

## ②低密度であるが分布が拡大している地域

低密度であるが分布が拡大している地域を選定し、足跡トラップや自動撮影によりアライグマの生息状況をモニターしつつ、箱ワナ設置により捕獲を行い、地域の自治体と連携して効果的な防除を行う。

また、自治体が連携して計画的な防除を行うにあたっての課題を整理し、一定範囲からの排除と分布拡大防止を含んだ広域的な防除のための連携手法を整理。

## ③捕獲個体の処分方法の検討

防除に伴う捕獲個体の処分に係る各地域の課題整理と連携方策の検討を行った上で、上記①及び②において捕獲された個体の処分方法についての整理。

## 2. アライグマ防除マニュアルの作成

上記の内容及び平成17・18年度に検討してきた「分布・被害状況の整理」、「ワナの設置方法」及び「モニタリング方法」等を加えアライグマ防除マニュアルを作成する。また、マニュアル作成に必要な知見を得るため、必要に応じてワーキンググループを開催する。

## 3. 検討会の設置

上記2. の検討及び実施に当たっては、学識経験者、自然保護団体、動物愛護団体、関係都県から成る検討会を設置し、2回開催する。また、検討会での検討に必要な知見を得るため、必要に応じてワーキンググループを開催するものとする。

### 関東地域アライグマ防除モデル事業調査検討委員会

#### <検討委員>

安藤元一（東京農業大学）  
石井信夫（東京女子大学）  
池田 透（北海道大学）  
金田正人（生物多様性ジャパン）  
羽山伸一（日本獣医生命科学大学）  
山口千津子（日本動物福祉協会）

#### <関係機関>

農林水産省関東農政局  
神奈川県環境農政部緑政課  
相模原市環境保全部みどり対策課  
葉山町福祉環境部環境課  
逗子市環境部緑政課  
東京都 環境局自然環境部計画課  
産業労働局農林水産部食料安全課  
町田市 環境・産業部農業振興課

#### <事務局>

環境省自然環境局野生生物課  
環境省関東地方環境事務所  
受託会社